

健康ぷらざ

No.470

企画:日本医師会

心臓弁膜症

重症になる前に対処しよう

心臓には、血液の流れを調整する弁があります。

心臓弁膜症は、この弁の開きが悪くなり

血液の流れが妨げられる、あるいは弁が完全に

閉じなくなり血液が逆流してしまうなど、

正常に機能しなくなった状態です。

食生活の欧米化で動脈硬化が進んでいる方や

高齢者など、毎年のように患者さんが増えています。

初めの自覚症状は、「息苦しい」、「息切れしやすい」、

「なんだか、だるい状態が続く」、「時々、胸が痛くなる」

などで他の病気と間違えやすいため、

正しく診断されていない人も多いといわれています。

この病気は、聴診や心エコー図検査などで診断します。

心エコー図検査は、痛みを伴わず、時間も30分程度で

体への負担が少ない検査です。

治療をせずに放置しておくと、

弁の部分だけではなく心臓の動き全体に影響を及ぼします。

気になる症状があればかかりつけ医に相談し、

必要に応じて専門医の紹介を受けましょう。



指導：心臓病センター榎原病院 検査部長 吉田 清

協賛：エドワーズライフサイエンス株式会社

◆待合室等に掲示し、患者さんにお見せください。